



NARA NEWS PAPER

〒630-8686 奈良市法華寺町2番地4 電話(0742)32-1000(代)

発行所 奈良新聞社 ©奈良新聞社 2018

本社(ダイヤルイン)0742-32-2111 中南和支社 0744-34-1221(代)
総務課・経理課 32-2112 大阪支社 06-6211-2797(代)
営業課 32-2113 東京支社
編集部 32-2114 03-5565-0031(代)
販売課・シニア事務局 32-2115
文化事業課 32-2117
出版部 32-2118

www.nara-np.co.jp

奈良市会委

予算修正案を可決

「映画祭」全額削除

奈良市議会の3月定例会は20日、予算決算委員会を開き、平成30年度一般会計予算案など付託された議案を採決。同予算案については総額1310億円の原案から、なら国際映画祭の補助金2000万円や、ならでんワールドの大型映像装置設置(5億円)などを全額削除し、総額5億7534万6000円を減額する、中西吉日出氏(無所属)が提出した修正案を賛成多数で可決した。今後、仲川元庸市長の対応が注目される。

この日の審議は一般会計予算案と、仲川市長ら特別職の退職手当に関する条例改正案に対し、複数の修正案が提出され混迷。予算案では、中西案のほか自民党奈良市議会と公明の両党が、映画祭への補助金を1250万円に削減するな

また採決に先立ち行われた仲川市長への総括質疑でも各派から厳しい質問、指摘が相次ぎ、同市長の3期目初の予算に議会から強い不満が示された。

公明党の藤田幸代氏は「子どもの貧困」問題の観点から、放課後学童保育(バンビーホーム)の夏休み等の昼食提供事業は児童格差を生むと指摘し「(市

は)課題を認識していない」と批判。市立小学校の少人数学級(30人)縮小については、共産党の北村拓哉氏が小学3、4年生の少人数学級据え置きを求め、日本維新の会の三橋和史氏も「財政難による教育費減額」と主張。無所属の阪本美知子氏も「市長は公約の後退をど

う考えるか」とたたじた。市民の声奈良の鍵田美智子氏は新斎苑(火葬場)整備の事業者選定で市が計画の一部を勝手に変更した点を問題視。無所属の植村佳史氏は「工事の遅延も懸念される。完成時期に影響が出た場合どう市長は責任を取るのか」などとたたじた。

特別職 退職手当 自民修正案を可決

奈良市議会の予算決算委員会は20日、委員会採決で仲川元庸市長ら特別職の退職手当に関する条例改正案について、自民党奈良市議

会が修正案を提出。公明、共産、革新新会なども賛成し、同修正案を可決した。

総括質疑では自民の東久保耕也氏が、市の

審議会の答申をもとに、市長は独自で5割カット、それ以外の特別職は4割カットする条例案が示されていることに「退職手当に関

しては市長が交代したり、財政事情の好転など議論のタイミングがある。審議会で退職手当の必要性が認められたのなら、まず現行制度の本則に戻し、市の財政事情などを勘案し市長自身は50%カットとか自主的な対応をす

べき」と主張した。公明党も藤田幸代氏が「退職金は後払い賃金という理解もある中

で、退職金だけをなぜ下げるのか」と述べ、「市長は本則を改正し、退職金を下げようとして対応を批判した。